

近代英語協会ニューズレター

2015年(平成27年)12月24日

近代英語協会事務局分室

〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600-2

尾道市立大学芸術文化学部平山研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

電話: 0848-22-8311 大学代表番号

年会費振替口座 00810-9-5821

1 新会長の挨拶

本年10月から、児馬修前会長の後任を仰せつかることになりました。理事の諸先生方をはじめ、事務局長の平山直樹先生、編集幹事の坂内宏行先生、財務の山東資子先生のご協力を得て、微力ながら学会の運営に尽くしたいと存じます。

本学会は、1983年5月に荒木一雄(名古屋大学教授)、河井迪男(広島大学教授)、宇賀治正朋(東京学芸大学教授)(職位は当時)の3氏が発起人となりわが国における近代英語研究の発展を意図して設立されて以来、現在32年目を迎えております。会員数が約220名という比較的小規模な学会ではございますが、更なる発展が期待されております。そのためにも、今まで以上に、会員の皆様が本学会の活動に積極的に参加できるような学会にしていければと願っております。

会員の皆様には、今後一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

菊池繁夫

2 近代英語協会第33回大会について

第33回大会は、2016年6月25日(土)に、安田女子大学(アストラムライン安東駅から徒歩約4分)において開催されます。

シンポジウムは、「近代英語研究における辞書データの使い方」という統一テーマの下、広島大学の中尾佳行先生に司会を、山口大学名誉教授の和田章先生、熊本学園大学の堀正広先生、立命館大学の滝沢直宏先生に講師を務めていただきます(勤務先は2015年12月現在)。各講師はブックフォーマットであれ、電子化されたものであれ、種々の辞書編集あるいは使用に習熟され、多くの研究業績をこれまで公刊されてきています。講師それぞれの視点から、辞書が共時的・通時的な英語研究にどのように貢献できたか、あるいは文学の言語研究にどのように有効であったか、実証的に論じられます。同時に現在の辞書の利便性とその限界点、その限界点にどのように対応すればよいのか、将来に向けての打開策についても言及する予定です。

個人研究発表の締め切りは2016年1月31日(日)です。発表をご希望の方は、(a)発表題目と300字程度の要旨、(b)氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、e-mailアドレス)・大会発表助成金希望の有無(詳細は3ページ「7」参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でお申し込み下さい。

(ア) 電子メールによる応募

- ・(a) MSWord 文書、及びその pdf. ファイルを添付。
- ・(b) MSWord 文書のみ。

宛先 hirayama@onomichi-u.ac.jp

(イ) 郵送による応募

- ・(ア) の(a)又は(b)を入れたフロッピーディスクまたは CD-R
- ・打ち出し原稿

宛先 〒722-8506

広島県尾道市久山田町 1600-2

尾道市立大学 芸術文化学部

平山直樹

3 『近代英語研究』第 32 号の発行について

9 編の論文、4 編の研究ノート、4 編の書評のご投稿がありました。ご応募いただきありがとうございました。編集委員会の厳正なる審査結果は次のとおりです。2016 年 6 月の発行を目指して、現在編集作業が進められております。

| | 論文 | 研究ノート | 書評 |
|------|----|-------|----|
| 掲載可 | 2 | 2 | 3 |
| 再審査 | 3 | 1 | 1 |
| 掲載不可 | 4 | 1 | |

4 『近代英語研究』第 33 号の投稿締め切りについて

第 33 号 (2017 年 6 月発行) の投稿締め切りは 2016 年 9 月 15 日となっております。ふるってご応募ください。審査はすべて匿名で行われます。応募要領は、協会ホームページ左下「出版物」の中の「投稿要領」、あるいは、協会誌最新号の奥付の前の 2 ページ分をご覧ください。なお、応募原稿、同電子ファイルの送付先は以下の通りです。

電子ファイル

sme.me.a.japan@gmail.com

打ち出し原稿

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000

弓削商船高等専門学校総合教育科 坂内宏行

なお、『近代英語研究』に掲載しておりますように、英語論文に関して、英語を母語としない投稿者については投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上で応募下さい。また、学会誌への二重投稿はお控え下さい。

5 編集委員の交替について

榎田裕加先生の退任に伴い、2015年10月より横越梓先生（名古屋工業大学）が編集委員として就任されました。

6 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞について

賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でている論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。論文応募の際、「執筆者情報ファイル」の該当欄に(√)をご記入いただくだけで結構です。選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第2条より）です。

なお、次号、第32号分の受賞者の有無は、第33回大会および来夏のニューズレターでお知らせします。

7 大会発表助成金制度の創設について

2015年6月の理事会にて、来年度より、学会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に学会発表を奨励するため、学会発表助成金制度を設けることとなりました。助成金対象者は、大会発表を行う大学院生・常勤職のない会員（申請時37歳以下、または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者）を対象と致します。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費（往復）とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙（発表投稿時に希望を明記）に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。是非、多くの発表の応募を期待しております。

8 『近代英語研究』電子アーカイブ化

独立行政法人科学技術振興機構のサイトに、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。次のサイトにアクセスしていただければ、創刊号から第24号（2008）までの論考をパソコン画面上でお読みいただいたり、印刷してご活用いただけます。

- ・ 検索サイト（Google、Yahoo など）で「j-stage」と入力して検索
 - ・ 「J-STAGE トップ」または「J-STAGE トップ—科学技術振興機構」をクリック
 - ・ 右上の「誌名」タブを選び、ボックスに「近代英語研究」と入力して検索
 - ・ 青字の「近代英語研究」をクリック
 - ・ 画面左端の「巻号一覧 近代英語研究」からお探しの号をクリックし、目指す論考の「本文 PDF」をクリックしてください。
- (※ 近代英語協会のホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「出版物」からもリンクされています。)

なお、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

9 会費納入のお願い

近代英語協会の財政は、依然厳しい状況にあります。会費が未納の方は、恐れ入りますが、早めにご入金下さいますよう、お願い申し上げます。

10 事務局より

本年 10 月より、新会長菊池繁夫先生（関西外国語大学）の下、事務局長の仕事をさせて頂いております。新事務局では、編集幹事を坂内宏行先生（弓削商船高専）に、また、今回から新たに設けた財務を山東資子先生（福山大学）に、それぞれご担当いただいております。

このたび、前事務局長の保坂道雄先生による周到な引き継ぎ作業のお陰で、ニューズレターを刊行することができました。不慣れな事務局のため、ご不便をお掛けすることもあるかと存じますが、2017 年 9 月末の任期満了まで、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、これまでの 2 年間、本学会のためにご尽力頂きました児馬修前会長、保坂道雄前事務局長、並びに各役員の皆様方に、心より御礼申し上げます。

なお、協会に関するお問い合わせとご連絡は下記にお願いできればと存じます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

- 協会誌について
坂内宏行
(sme.meajapan@gmail.com)
- ホームページについて
川端朋広
(kawabata@aichi-u.ac.jp)
- その他全般について
平山直樹
(hirayama@onomichi-u.ac.jp)

—事務局長 平山直樹

良い年をお迎えください。